

2, 3号機 給水系注水ライン改造に伴うCS系 単独注水の事前確認試験について

2017年10月26日



東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

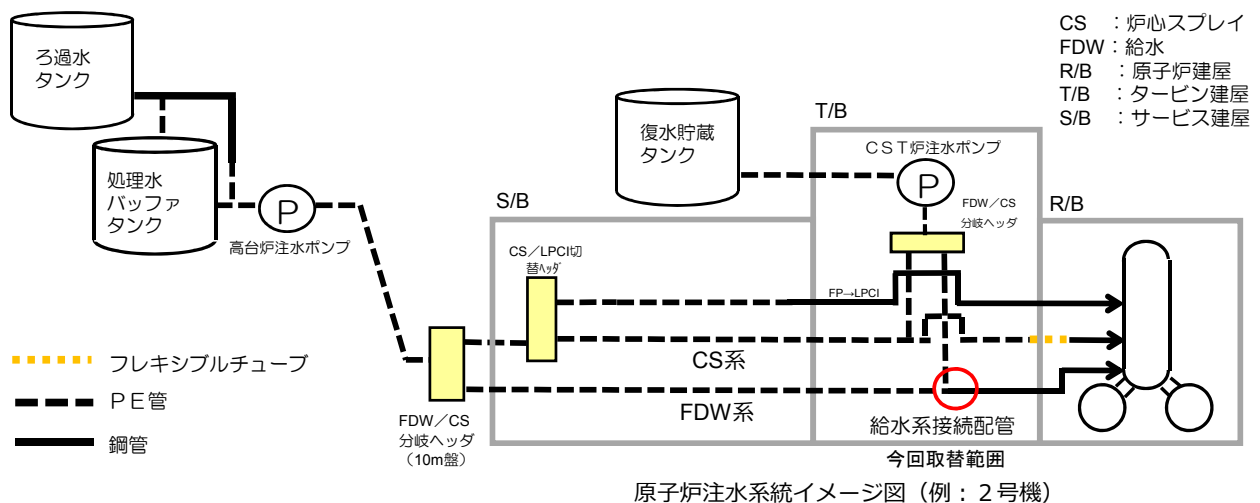
無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. CS系単独注水事前確認試験の概要



給水系注水ライン改造工事の際、原子炉注水をCS系のみで実施すること、また、現在の注水量 $3\text{m}^3/\text{h}$ におけるCS系の単独注水実績がないことから、工事前にCS系単独注水事前確認試験を行い、原子炉の冷却状態に対する影響を確認する。

2号機は10月31日～11月7日に、3号機は11月14日～11月21日に事前確認試験を予定している。



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

■ 試験中以下の監視を実施

注水変更操作から24時間の監視強化とし、冷却状態に異常が無い場合には、24時間以降は通常頻度での監視に移行

監視パラメータ	監視頻度		判断基準
	操作後24時間	24時間以降 (通常監視頻度)	
原子炉圧力容器底部温度	毎時	毎時	6.5℃以下および試験前からの温度上昇が10℃※未満
格納容器内温度	毎時	6時間	6.5℃以下および試験前からの温度上昇が10℃※未満
原子炉への注水量	毎時	毎時	必要な注水量が確保されていること
格納容器ガス管理設備 ダストモニタ	6時間	6時間	有意な上昇が継続しないこと

※ 試験期間中、判断基準の超過、10℃以上の温度上昇等がみられた場合、CS系注水量の増加を実施